

米沢市新文化複合施設の愛称について

1 募集期間

平成28年3月15日(火)～平成28年4月15日(金)

2 応募状況

(1) 応募点数	1, 434点	(1人3点まで応募可能)
(2) 応募人数	869人	
(3) 応募内訳	山形県内	526点 / 326人
	(うち米沢市内)	443点 / 271人
	山形県外	908点 / 543人

3 愛称名

「ナセBA」(読み: なせば)

〈選考理由〉 選考委員会において幅広い年代の方々が覚えやすく読みやすい言葉の響きや文字のバランス等を考慮し、愛称名の原案となった応募作品「naseBA」をもとに、「ナセBA」という愛称に補作しました。

- ・「ナセBA」は、米沢藩9代藩主上杉鷹山公の名言の一つ「なせばなる」に由来するもので、鷹山公を尊敬する市民の皆様にも広く知られている有名な言葉である。
- ・「ナセBA」のBAは、BOOK(本=図書館)とART(芸術=市民ギャラリー)の頭文字BとAを組み合わせたもので、図書館と市民ギャラリーからなる施設のイメージを表現している。

4 最優秀賞(1作品)

「naseBA」(読み: なせば) 佐藤 敦子 さん 米沢市

5 優秀賞(3作品)

(1) 「たねーる」	(読み: たねーる)	丹野 州 さん	米沢市
(2) 「学美の森」	(読み: まなびのもり)	菅野 博樹 さん	東京都
(3) 「YOの音」	(読み: よのおと)	前田 健 さん	神奈川県